

## 2016年度以降のカリキュラム適用者

### 『リベラルアーツ学群専攻プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この冊子は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

この冊子は、各専攻プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

#### ●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各専攻プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望する専攻プログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・とくに、専攻プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

#### ●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各専攻プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各専攻プログラムを修了するためには32～36単位の科目を修得することが必要ですが、どの専攻プログラムも、それをほかに上回る数の科目を準備しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたモデル・カリキュラムの例を示したものです。
- ・各専攻プログラムの「履修モデル」ページには、その専攻プログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、その専攻プログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、33の専攻プログラム、およびマイナープログラムがありますが、この冊子には、各専攻プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心ある専攻プログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、このように履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

リベラルアーツ学群教員一同

## 文化人類学専攻プログラム

<p>履修のしかた</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 1年次または2年次春学期までに履修すべき科目： 「文化人類学」は導入科目ですので、まずこの科目から履修して下さい。その上で、「文化」は極めて広域に及ぶものであることから、各学生の興味・関心のある分野やテーマ、地域に合わせ、ジェンダーの人類学、宗教人類学、文化人類学特論などの科目、さらに諸宗教や国際交流、地域研究の科目、また実習科目の文化人類学フィールドワークなどを、積み上げ型で履修して下さい。</li><li>• 履修モデルとして、4つほどの事例を作りましたので、参考にして下さい。</li></ul>
<p>他の専攻プログラムとの関係</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 文化人類学の対象は広範囲にわたるため、関心のあるテーマや地域との関わりから、他の専攻プログラムからの科目履修も勧めています。方法論的には、理論・方法論科目の他に、比較社会学や歴史学、国際関係論や国際協力論、テーマからは宗教学や言語学など、また研究対象地域との関連では、アジア、アメリカ、日本の地域研究専攻の科目を履修することも可能です。また地域言語の学習が必要となる場合もあるでしょう。</li><li>• 要はメジャーの専攻とマイナーの専攻での学習が相乗効果をもたらすように、科目履修の組み立て方をよく考えて、また自ら工夫をしてみてください。</li></ul>
<p>留学・教職その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 留学について：留学先で異文化を自ら体験し、文化人類学のフィールドワークへと繋げることもできるでしょう。</li><li>• 教職について：社会科の教員資格は、履修上、可能です。</li><li>• 毎年開催しているイベントなど：文化人類学専攻プログラムには、学生主体で活動する桜美林文化人類学学生研究会(略称 OSSCA)があります。積極的に参加して下さい。</li></ul>
<p>学生へのメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 文化人類学専攻の魅力：異文化に対する理解力は、グローバル時代といわれる今日、仕事をししていく上でも、生活の上でも、必要な「知的インフラ」です。異文化に出会ったときの驚きや新鮮さ、またそれについて実際に現地で学ぶ楽しさを若い感受性で存分に受けとめて、自らの持てる力を引き出し、かつそれを大きく伸ばして行って下さい。</li><li>• 履修生に望まれる学習姿勢：好奇心と主体的な学習への取り組みが期待されます。</li><li>• 専攻プログラムの運営方針（教育方針）：自ら課題を発想する力、それを調べる力、その調べ物の成果をまとめる力、これらを習得することがまず基本的な教育方針です。</li><li>• 専攻プログラムの特徴の補足的説明：専攻演習Ⅰ、Ⅱ、卒業論文または卒業研究は、履修することを強く推奨します。</li></ul>

## 文化人類学専攻プログラム

### 1 宗教文化への文化人類学的アプローチ 履修モデル

この履修モデルは、文化のなかでも特に宗教的諸問題に関心があり、また地域としてはアジアやとりわけ東南アジアに関心を持つ学生が、イスラームや仏教、さらには比較の意味で西欧文明についても学びつつ、異文化理解を深め、比較文化研究の手法を身につけていくという一つの事例です。

導入科目である文化人類学や宗教人類学を履修した後、理論・方法論として、ジェンダーの人類学などを履修し、同時に研究対象とするアジア、東南アジア、またこの地域の女性やこの地域に関わる宗教の科目を履修して、知見を深めていきます。さらに自ら課題発想したテーマについて、実際に現地へ行き、フィールドワークを行うという実践科目を履修することもできます。講義科目の履修や自らの調査などを踏まえて、最終的には大学生生活の集大成として、卒業論文の完成へともっていくことが期待されます。こうした異文化理解や比較文化的考察力は、特に国際的な職場で働く上で非常に役立つものとなるでしょう。

### 文化人類学専攻プログラム科目

Level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入	◎	ANT1000L	文化人類学	4												
		SOC1000L	社会学概論	4												
		GEG1000L	地理学概論	4												
		REL1000L	宗教学概論	4												
理論・方法論						ANT2120L	同時代の人類学	4	○	ANT3600L	文化人類学フィールドワーク	2				
					○	ANT2130L	ジェンダーの人類学	4		INT36**L	国際協力フィールドワーク	1~4				
					○	ANT2110L	宗教人類学	4								
						ANT2230L	文化人類学特論(性の人類学)	4								
						ANT2220L	文化人類学特論(実践の人類学)	4								
						ANT2240L	文化人類学特論(遊牧文化論)	2								
社会・宗教研究						SOC2130L	比較社会学	4								
						ANS2150L	東アジアの現代社会	4		ANS3180L	東アジア研究	4				
						ANS2180L	東南アジア研究	4		ANS3380L	東北アジア研究	4				
						ANS2181L	東南アジアの現代社会	4		ANS3181L	南アジア研究	4				
						LIT2031L	中国文化史	4		ANS3182L	西アジア研究	4				
						ANS2141L	中国文化論	4		LIT3335L	中国地域研究	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4		ANS3381L	アジア女性論	4				
						AMS2140L	アメリカの文化	4		AMS3150L	アメリカ女性論	4				
						AMS2131L	アメリカ社会史	4		JPS3140L	日本文化論	4				
						AMS2150L	アメリカ民族論	4	○	ANT3110L	イスラーム文化論	4				
						AMS2151L	アメリカの社会	4	○	CHR3340L	キリスト教文化論	4				
						LIT2340L	ロシアの社会と文化	4	○	ANT3111L	儒教文化論	4				
						ETH2020L	日本思想史	4	○	ANT3112L	仏教文化論	4				
					○	REL2300L	日本の宗教	4								

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・専攻演習 I[2]
- ・専攻演習 II[2]
- ・卒業論文[4]

文化人類学専攻プログラム

2 国際交流や多民族社会の諸問題の研究 履修モデル

この履修モデルは、国際交流や異文化理解教育など、多民族社会やエスニシティ、出稼ぎ・移民などに関わるテーマに興味をもつ学生が、複数の地域にまたがる歴史や文化についての授業、交流史・民族論などについて学ぶという事例です。

その導入となる科目、文化人類学や同時代の人類学、民族研究を通じて、テーマに関わる専門概念やアプローチ手法を学習するとともに、具体的な地域や国家間の交流史やその地域の歴史や文化、多民族国家アメリカの民族論などの科目の履修、さらに、国際協力フィールドワークを履修することもできます。また自ら地域やテーマを特定し、現地で行うフィールドワークも貴重な経験となるはずです。さらに、演習を履修し口頭発表などをこなすことで、卒業論文へ繋げることも可能です。

国際交流や文化事業に関わる機関で働くことを目指す人などには、こうした履修が一つの参考になるでしょう。

文化人類学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入	◎	ANT1000L	文化人類学	4												
		SOC1000L	社会学概論	4												
		GEG1000L	地理学概論	4												
		REL1000L	宗教学概論	4												
理論・方法論					○	ANT2120L	同時代の人類学	4	○	ANT3600L	文化人類学フィールドワーク	2				
					○	ANT2130L	ジェンダーの人類学	4	○	INT36**L	国際協力フィールドワーク	1~4				
					○	ANT2110L	宗教人類学	4								
						ANT2230L	文化人類学特論(性の人類学)	4								
					○	ANT2220L	文化人類学特論(実践の人類学)	4								
						ANT2240L	文化人類学特論(遊牧文化論)	2								
社会・宗教研究						SOC2130L	比較社会学	4								
						ANS2150L	東アジアの現代社会	4		ANS3180L	東アジア研究	4				
						ANS2180L	東南アジア研究	4		ANS3380L	東北アジア研究	4				
						ANS2181L	東南アジアの現代社会	4		ANS3181L	南アジア研究	4				
						LIT2031L	中国文化史	4		ANS3182L	西アジア研究	4				
						ANS2141L	中国文化論	4		LIT3335L	中国地域研究	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4		ANS3381L	アジア女性論	4				
						AMS2140L	アメリカの文化	4		AMS3150L	アメリカ女性論	4				
					○	AMS2131L	アメリカ社会史	4		JPS3140L	日本文化論	4				
					○	AMS2150L	アメリカ民族論	4		ANT3110L	イスラム文化論	4				
						AMS2151L	アメリカの社会	4		CHR3340L	キリスト教文化論	4				
						LIT2340L	ロシアの社会と文化	4		ANT3111L	儒教文化論	4				
						ETH2020L	日本思想史	4		ANT3112L	仏教文化論	4				
					REL2300L	日本の宗教	4									

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・専攻演習I〔2〕
- ・専攻演習II〔2〕
- ・卒業論文〔4〕

## 文化人類学専攻プログラム

### 3 開発の諸問題へ実践の人類学 履修モデル

この履修モデルは、貧困や環境、ジェンダー・性などのグローバル・イシューについて学ぶとともに、広い意味での「開発」人類学や実践応用的な人類学を目指すもので、国際協力フィールドワークなどの授業に参加するという事例です。

導入となる科目、文化人類学を履修した後、ジェンダーの人類学や同時代の人類学などを通じて、格差や貧困やジェンダーなどのテーマについて学び、さらに具体的な地域として、例えば、アジア地域に関連した諸科目の履修、そこでの文化理解には欠くことができない宗教関連の科目を履修することもできます。その上で現地に実際に赴いて実施する国際協力フィールドワークや国際学インターンのプログラムに参加します。

国際協力や開発支援などに関わる仕事を目指す人などには、こうした履修モデルも選択肢の一つになるでしょう。

### 文化人類学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入	◎	ANT1000L	文化人類学	4												
		SOC1000L	社会学概論	4												
		GEG1000L	地理学概論	4												
	○	REL1000L	宗教学概論	4												
理論・方法論					○	ANT2120L	同時代の人類学	4	○	ANT3600L	文化人類学フィールドワーク	2				
					○	ANT2130L	ジェンダーの人類学	4	○	INT36**L	国際協力フィールドワーク	1~4				
						ANT2110L	宗教人類学	4								
						ANT2230L	文化人類学特論(性の人類学)	4								
					○	ANT2220L	文化人類学特論(実践の人類学)	4								
						ANT2240L	文化人類学特論(遊牧文化論)	2								
社会・宗教研究						SOC2130L	比較社会学	4								
						ANS2150L	東アジアの現代社会	4		ANS3180L	東アジア研究	4				
					○	ANS2180L	東南アジア研究	4		ANS3380L	東北アジア研究	4				
						ANS2181L	東南アジアの現代社会	4	○	ANS3181L	南アジア研究	4				
						LIT2031L	中国文化史	4		ANS3182L	西アジア研究	4				
						ANS2141L	中国文化論	4		LIT3335L	中国地域研究	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4	○	ANS3381L	アジア女性論	4				
						AMS2140L	アメリカの文化	4		AMS3150L	アメリカ女性論	4				
						AMS2131L	アメリカ社会史	4		JPS3140L	日本文化論	4				
						AMS2150L	アメリカ民族論	4		ANT3110L	イスラム文化論	4				
						AMS2151L	アメリカの社会	4		CHR3340L	キリスト教文化論	4				
						LIT2340L	ロシアの社会と文化	4		ANT3111L	儒教文化論	4				
						ETH2020L	日本思想史	4		ANT3112L	仏教文化論	4				
						REL2300L	日本の宗教	4								

### その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・専攻演習I〔2〕
- ・専攻演習II〔2〕
- ・卒業論文〔4〕

## 文化人類学専攻プログラム

### 4 なじみの薄い異文化から学ぶ 履修モデル

わたしたちは、自らが生まれ育った文化の価値観を、知らず知らずのうちに信じて暮らしています。文化人類学は、わたしたちにとってなじみの薄い異文化の人の行動と考えに出会ったときの不思議さ、驚きなどを手がかりとして、人類の多様な価値観について知り、さらには、自分自身の価値観についてもあらためて問い直し、相対化して見つめ直すことができます。

本履修モデルは、机上で、地球上のさまざまな文化における行動や考え方を学習するだけでなく、フィールドワークを行って、実際にそれらに触れながら、異文化から学ぶことの大切さを学習します。

### 文化人類学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入	◎	ANT1000L	文化人類学	4												
		SOC1000L	社会学概論	4												
		GEG1000L	地理学概論	4												
		REL1000L	宗教学概論	4												
理論・方法論						ANT2120L	同時代の人類学	4	○	ANT3600L	文化人類学フィールドワーク	2				
					○	ANT2130L	ジェンダーの人類学	4		INT36**L	国際協力フィールドワーク	1~4				
					○	ANT2110L	宗教人類学	4								
					○	ANT2230L	文化人類学特論(性の人類学)	4								
						ANT2220L	文化人類学特論(実践の人類学)	4								
					○	ANT2240L	文化人類学特論(遊牧文化論)	2								
社会・宗教研究						SOC2130L	比較社会学	4								
						ANS2150L	東アジアの現代社会	4		ANS3180L	東アジア研究	4				
						ANS2180L	東南アジア研究	4		ANS3380L	東北アジア研究	4				
					○	ANS2181L	東南アジアの現代社会	4	○	ANS3181L	南アジア研究	4				
						LIT2031L	中国文化史	4		ANS3182L	西アジア研究	4				
						ANS2141L	中国文化論	4		LIT3335L	中国地域研究	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4		ANS3381L	アジア女性論	4				
						AMS2140L	アメリカの文化	4		AMS3150L	アメリカ女性論	4				
						AMS2131L	アメリカ社会史	4	○	JPS3140L	日本文化論	4				
						AMS2150L	アメリカ民族論	4	○	ANT3110L	イスラーム文化論	4				
						AMS2151L	アメリカの社会	4		CHR3340L	キリスト教文化論	4				
						LIT2340L	ロシアの社会と文化	4		ANT3111L	儒教文化論	4				
						ETH2020L	日本思想史	4		ANT3112L	仏教文化論	4				
						REL2300L	日本の宗教	4								

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕